



国土交通省による出前講座(国見町大枝地区)

国見町防災訓練の一環として出前講座を開催 「想定最大規模の浸水想定区域」を公表後、国見町で初の出前講座

国見町防災訓練とは

- 平成29年9月10日、国見町内の5地区6会場で**防災訓練を開催**。
- 土砂災害、地震による家屋倒壊・火災等を想定した訓練を実施。
- 消防団（水防団）、伊達地方消防組合、日本赤十字社、国見町社会福祉協議会、赤十字奉仕団、自衛隊等と連携し**約3,100名が訓練に参加**。

～町内会・自主防災会が主体となった訓練を行い
地域住民の危機管理意識の向上を図りました～



各地区（全町内会）で防災訓練を実施



伊達地方消防組合の指導による初期消火訓練

国見町防災マップ

- 国土交通省では、阿武隈川の浸水想定区域図を従来の計画規模から、**想定最大規模に更新（平成28年6月）**
- これを受け国見町では、「国見町防災マップ」を更新し、**町内全世帯に配布済み**（平成29年3月）
- 防災訓練では**マップを大きく掲示し**、参加者の方が避難ルート等について確認されていました。



防災マップにて危険な箇所や避難ルートを再確認

出前講座（国見町大枝地区）

講座名：防災への取組～洪水に備えて～
 日時：平成29年9月10日（日）
 午前9時30分～10時30分
 場所：国見東部高齢者等活性化センター

- 国見町防災訓練の一環として、国土交通省職員による出前講座を開催。
- 阿武隈川の浸水想定区域が含まれる**大枝地区の方**を対象に水防災に関する取組事例の紹介を始めとする講話を行いました。
- 阿武隈川の氾濫によって発生する**浸水の恐れのある範囲の事前確認**や**早めの避難行動**を呼びかけました。

大枝地区の訓練項目である「指定避難所への避難訓練」でお集まりになった約50名の方を対象に説明しました！



浸水範囲の事前確認や、早めの避難行動が重要で

福島河川国道事務所では、地域づくりの一助とするため出前講座を開催しています。
 今後も出前講座をはじめとした取組を展開し、防災に関する教育・啓発活動を推進していきます。